



Linux
Professional
Institute

特定非営利活動法人 LPI-Japan



**Linux
Professional
Institute**

LPI-Japan

E-mail:info@lpi.or.jp

[URL:www.lpi.or.jp](http://www.lpi.or.jp)



Linux
Professional
Institute

LPIとは

- Linux技術者の認定試験 (LPIC) を中立の立場で行うNPO - 非営利団体
- 主な活動費はLPIに賛同する企業・団体からの寄付金
- 活動は多くのボランティアに支えられている

参加しよう

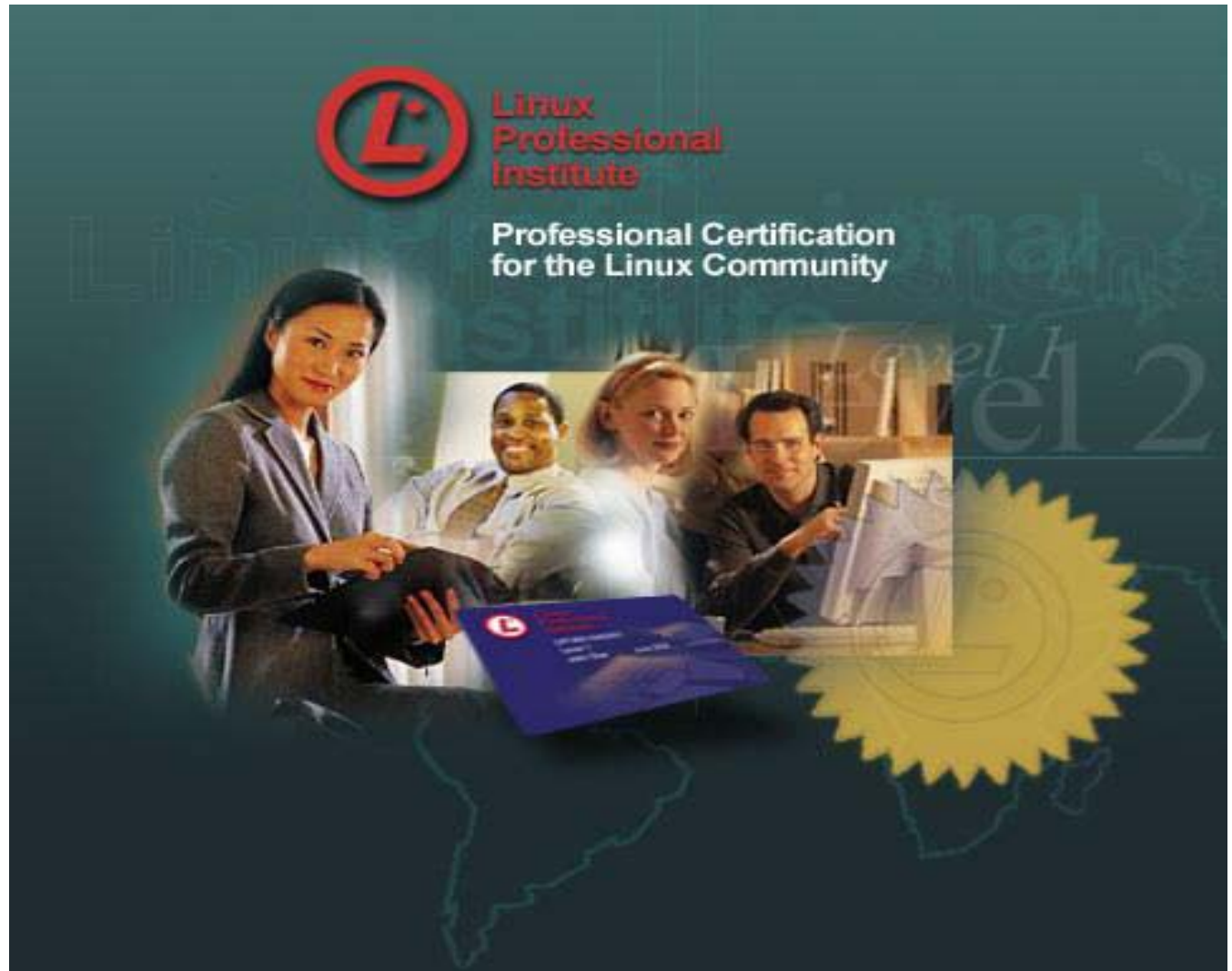
メーリングリスト、
問題の作成、
イベント参加
スポンサー
会場の提供 e t c





Linux
Professional
Institute

www.LPI.org





Linux
Professional
Institute

WorldWideな活動

- 世界十カ国で支部が活動



- 各国語に翻訳されたHPを提供
- 日本は独自HPも提供
 - 日本向けのLPI関連情報を積極的に提供



Linux
Professional
Institute

LPIの沿革

- **1999年10月**：Linuxの国際的技術者認定機関としてLPI設立(カナダ) 登記
- **2000年1月**：Level 1. スタート(英語版)
- **2000年7月**：LPIジャパン登記
- **2000年10月**：Level 1. スタート(日本語版)
- **2001年11月**：Level 2. スタート(日本語版12月)
- **2001年12月**：事務局を秋葉原リナックスビルに設置
- **2003年5月**：Level 1リリース2日本語版スタート



Linux
Professional
Institute

LPI-Jの特徴

- LPI認定試験は世界で約3万人が受験している。(2003年9月末現在)
- LPI - Jは世界の中で一番多くのLPIC試験受験者を受け付けている。
- 多くのメジャーなコンピューター関係会社はLPI - JのPlatinumスポンサーである
- 国際的な組織により運営されており、世界に共通する認定試験



Linux
Professional
Institute

LPICニュース2003

	上海で日本語でのペーパーテスト実施 (復旦大学国際経営技術講習所にて104試験)
	LPICアカデミック認定制度開始
	世界初全盲の受験者LPIC合格！
	Linux World Expo Tokyo2003 出展 (サンプルテストを実施)
	8月末にはLPIC国内受験者総数一万人達成 9月末には月間受験者1千名を突破



Linux
Professional
Institute

LPIアカデミック認定制度

LPIアカデミック認定とは？

LPI-Japanは、2003年新しくアカデミック認定校制度を制定いたしました。IT教育機関様と一体になってリナックス教育の活性化及びLPIの理念の普及を目指して生まれた制度です。

設備、コース内容など一定レベルの学習環境を持ったスクール様をLPIの認定校と指定させていただき、受験者の皆様に質の高いリナックス教育を提供してきたいと考えております。



Linux
Professional
Institute

LPI - Jアカデミック認定校

(2003年10月31日現在)

リナックスアカデミー

(代表者: 松田直之、本拠地: 東京都新宿区)

CBSアカデミー

(代表者: 飯島勲、本拠地: 東京都港区)

ケンOAスクール (池袋、新宿、渋谷校)

(代表者: 高橋秀治、本拠地: 千葉県松戸市)

日立システムアンドサービス(東京、大阪、名古屋校)

(代表者: 中村博行、本拠地: 東京都大田区)

先端情報カレッジ(代表者: 岡田満夫、本拠地: 東京都新宿区)

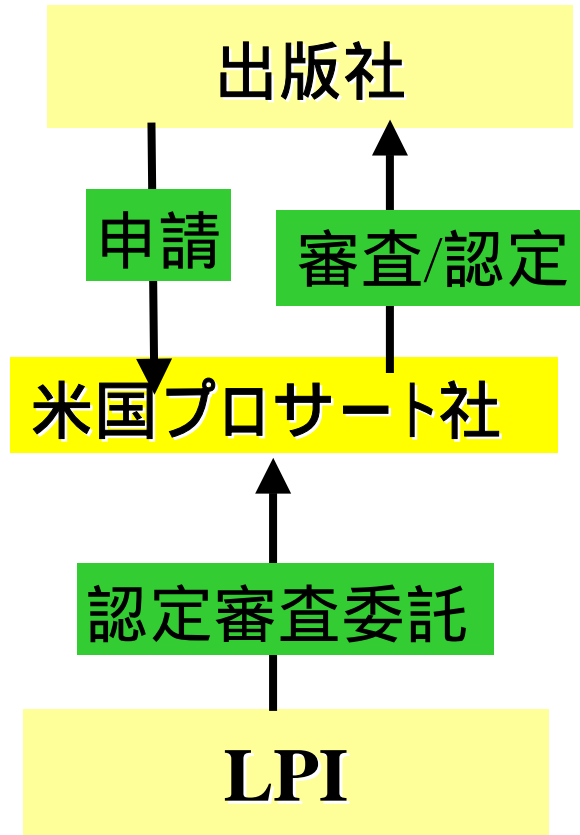
パナソニックITカレッジビジネス(梅田、難波校)

(代表者: 山田俊彦、本拠地: 大阪府門真市)



Linux
Professional
Institute

LPI教材認定 (LATM) プログラム



LATMロゴ

LATMプログラムの審査に合格することは教材がLPI認定試験の範囲を網羅したものであることを意味します。

問合せ先: info@lpi.or.jp

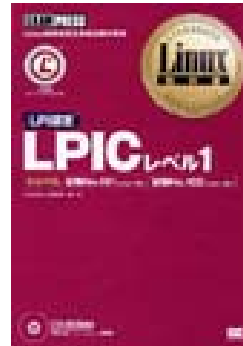


Linux
Professional
Institute

L A T M (LPI 認定教材例)



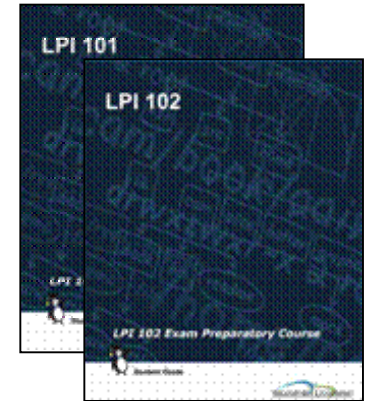
LPI認定教科書+問題集
Level-1-101/102
リナックス教育研究所 / ピーエイ



リナックス教科書
翔泳社



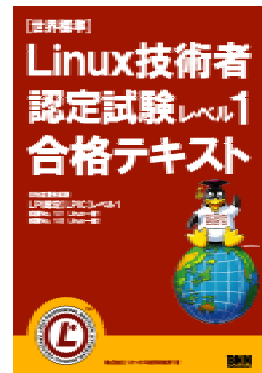
リナックス入門
エイチアイ



LPI101, 102
横河エンジニアリングサービス
(Bradford Learning社)



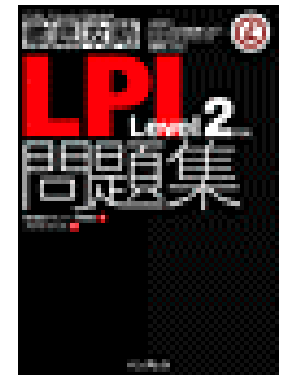
LPI Linux認定試験
日本ライセンスバンク



Linux技術者認定試験レベル1
合格テキスト
リナックス教育研究所 / ピーエイ



徹底攻略 LPI問題集
Level 1 Release 2 インプレス



徹底攻略 LPI問題集
Level 2 インプレス



Linux
Professional
Institute

Linux技術者認定試験の必要性

- Linux技術者の技術レベルを中立に判断できる方法が無かった。
- Linuxの教育方法の目標が定まらなかった。
- Linux関連会社の技術レベルが良く分からなかった。



Linux
Professional
Institute

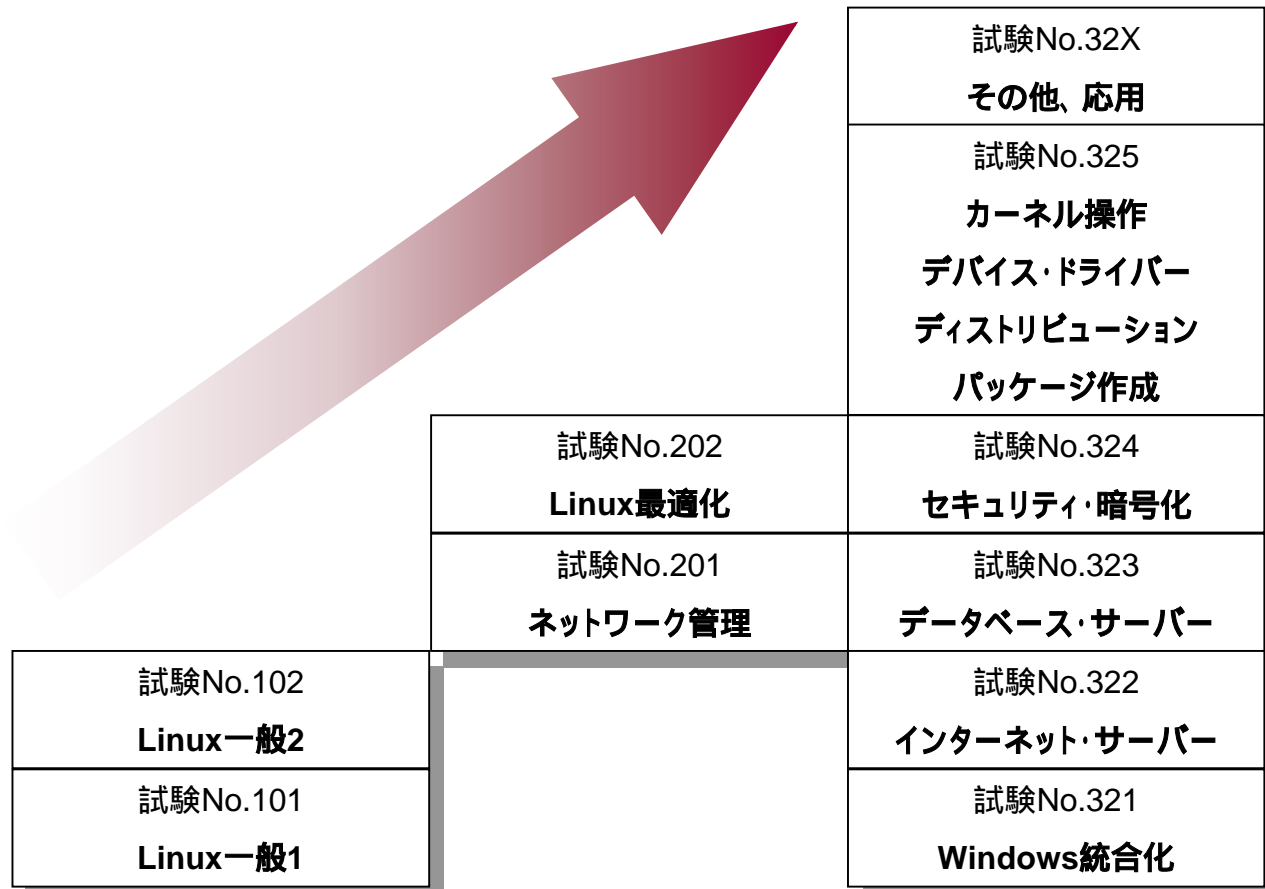
Distribution Independent Vendor Neutral

- Linuxには“黄身と白身”がある
- LPIの試験は共通一次試験
- Distribution依存の試験は各
Distribution の Certified Engineer向け



Linux
Professional
Institute

試験の構成



LPI認定(LPIC)レベル1

LPI認定(LPIC)レベル2

LPI認定(LPIC)レベル3



Linux
Professional
Institute

試験の受験

- いつでも受験可
(Rプロメトリック及びピアソンVUE)
- テストセンターは全国約180会場
- 受験料 : 1試験 ¥15,000-(税別)
- CBTでオンライン受験
- ペーパーテスト(PBT)による団体受験
随時受付 事務局までお問い合わせ



Linux
Professional
Institute

LPICリテークポリシー

= コンピューターでのテスト =

- * LPIC同一科目を受験する際、1回目の受験と2回目の受験は受験日の翌日から7日間以上(土日含む)の期間をあけて受験可能
- * 3回目以降の受験については、最後の受験日の翌日より最低90日間以上の期間をあけて受験可能
- * 一度合格した科目については、同試験が改訂されない限り、再受験はできない
- * 2003年10月1日までに受験されたものについては受験回数としてカウントされない

= ペーパーテスト =

- * LPIC同一科目受験の際、2度目の受験からは前回の試験日の翌日より最低90日間以上の期間をあけて受験可能
- * 一度合格した科目については、同試験が改訂された場合を除き、再受験を禁止



Linux
Professional
Institute



2003年 5月 20日

Access Your
Account

■受験方法

登録・予約・当日の
手続きのご案内

受験手順のご案内

■予約・変更・照会

受験前日まで可能

ログイン

■デジタルエンボス

スコアシートの確認

Check It Up

■耳寄りなご案内

キャンペーン情報

■試験情報メール

講読のお申込

■人事情報はこちら

採用情報

ホーム | IT試験サービス | 公開テストセンター | English | FAQ

LPI (Linux Professional Institute) 認定試験



LPI プログラムは、Linux OS の様々な側面における技術的能力を証明するための、包括的かつ、広範囲な認定試験を提供しています。

LPI プログラムはベンダー中立的かつ、多くのバージョンのLinux ソースを含んでいます。

プログラムの詳細は、

<http://lpi.or.jp/>

をご覧ください。

LPI 認定試験の試験予約は、ウェブ上でのオンライン試験申し込み、コールセンター、ご希望のテストセンターで受付けています。

試験申し込みは前日まで可能です。当日申込みの可能なテストセンターもございますので、直接ご希望のテストセンターへお問い合わせください。

- ・ [お申込方法](#)
- ・ [コールセンター\(受験予約登録センター\)の連絡先](#)
- ・ [試験実施科目一覧:](#)

ここは英語サイトになります。戻るときはブラウザの「戻る」ボタンをご利用ください。

また、日本で配信していない試験も表示されます。試験実施科目の詳細は、[コールセンター](#)にご確認ください。

- ・ [公開テストセンター一覧](#)
- ・ [バウチャーチケットのお申込み](#)



Linux Professional Institute

■ 資格試験情報

▶ IT系試験情報

- ・受験可能なIT試験
- ・試験会場
- ・予約状況
- ・受験予約
- ・受験チケット
- ・団体予約
- ・出張試験
- ・申し込みFAQ
- ・チュートリアル

語学/留学系試験情報

その他の試験情報

■ ビジネス情報

CBTシステム導入

WBTシステム導入

テストセンタービジネス

IT系試験情報











IT

弊社では、下記の資格試験を取り扱っています。

当ホームページからの受験予約では、**PROMO CODE** をご利用いただき受験予約の受付はしております。「申込書」をダウンロードしていただき電話受付にてご予約下さい。

※「申込書」をダウンロードご覧いただく為にはAcrobat Readerプラグインが必要です。



 Lotus		
 LPI		
 Lucent Technologies		
 MCP		
 MCA		



Linux
Professional
Institute

試験の流れ

- 試験作成には計量心理学者が参加
- 試験時間は90分、問題数は約60問
- CBTでは受験後その場で合否が判明
- 試験後、認定証が本部より送付



Linux
Professional
Institute

試験はこうして作られる

特別なプロセスを踏んで作成されるLPIC

業務分析

- 事前アンケート
- データー分析

課題設定

- サイコメトリックス(計量心理学)を基に課題設定
- 見直しと修正

個別問題(アイテム)作成

- 問題の作成、選出
- 技術面からの検討

テキスト作成

- フォームの作成
- ベーター版使用期間
- 最終チェックと再配布



Linux
Professional
Institute

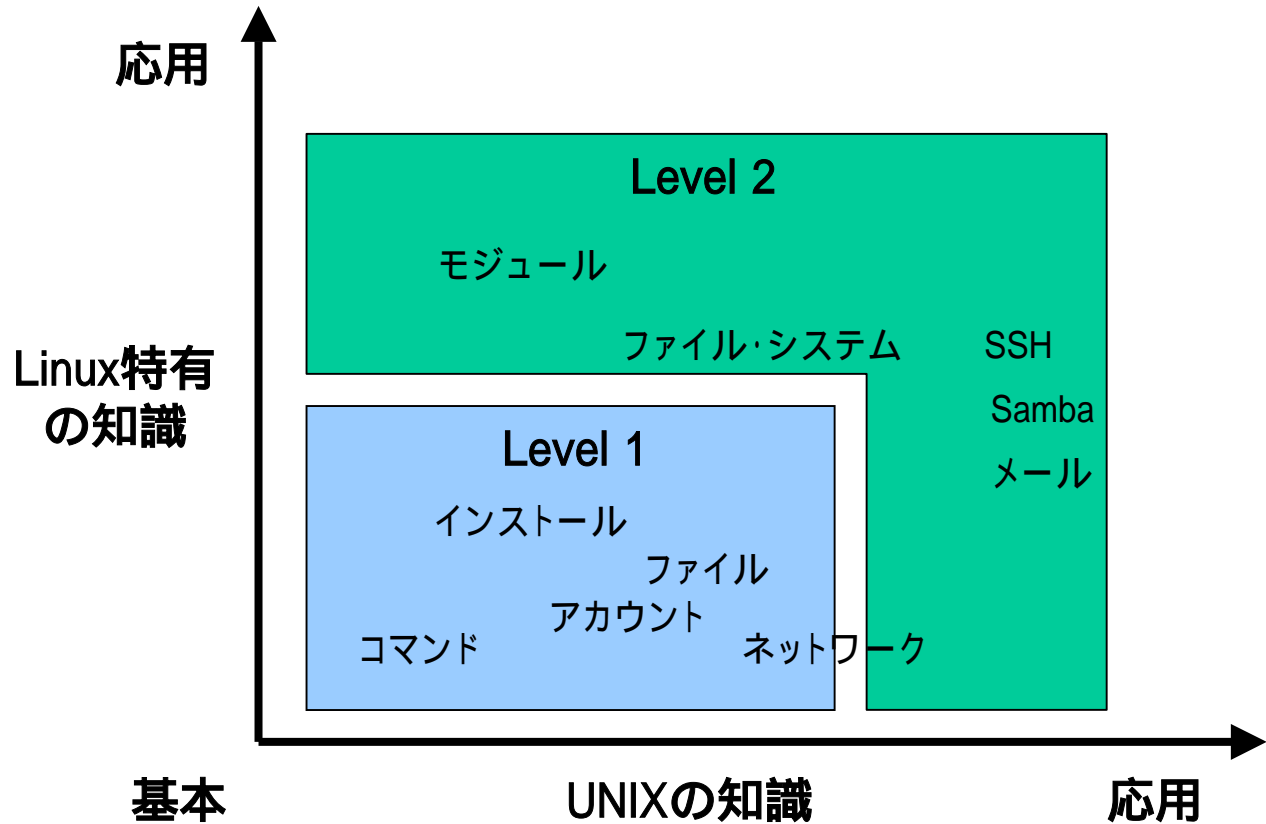
LPI認定テストのメリット

- **ベンダーニュートラル**
 - 様々な環境で知識が生かせる
- **本質的な問題**
 - 技術的な本質を見極める問題
- **広範囲に渡る出題**
 - 技術レベルの再認識



Linux
Professional
Institute

試験のカバレッジ





Linux
Professional
Institute

Level 1 試験の重点項目

- **基本UNIX コマンド**
 - テキスト・プロセッシング、正規表現
- **ファイルシステム管理の基礎**
 - パーティション、フリースペース、パーミッション
- **ユーザ、グループ管理の基礎**
 - ユーザーアカウントやグループの追加、削除
- **パッケージ・インストール**
 - パッケージ・マネージメント (rpm, deb)
- **ネットワーク設定の基礎**
 - 各種設定とトラブルシューティング



Linux
Professional
Institute

Level 2 試験の重点項目1/2

- ファイルシステム
 - システム・ユーティリティを用いた構成、メンテナンス
- ハードウェア
 - 新規ハードウェアの追加、設定
 - カーネル・モジュールの構成
- ネットワーク
 - ネットワークの構成と問題解決
 - BINDを用いたDNSサーバの構成



Linux
Professional
Institute

Level 2 試験の重点項目2/2

- メール&ニュース
 - Sendmail の設定管理 (エイリアス、メールリレーなど)
- ファイル共有サービス
 - Samba の設定管理 (共有プリンタ、ディレクトリなど)
 - NFS の設定管理 (exports, mount options)
- システム・セキュリティ
 - 各種セキュリティ関連プログラムの設定 (FTP, SSH, IPマスカレードなど)



Linux
Professional
Institute

実際の試験について

- PC 上で行う
 - VUE (Virtual Universal Enterprise) と Prometric
 - 対話型テスト・プログラム
- 選択式問題
 - 4 ~ 6 の回答から正しいものを選ぶ
 - 基本が正しく理解できていることが大切
- 筆記式問題
 - 空欄に正しいコマンド名などを記述
 - 正確な記述が必要



選択式問題の例

VUE C Candidate [999-999]

レビューチェック (E) 残り時間 1:27:58

IDBベースのマシンに、新しいカーネルをコンパイルしてインストールした。新しいカーネルのインストール後に、ブート処理が「VFS Panic: Unable to mount root FS」というエラーの発生個所で停止した。古いカーネルからは何の問題もなくブートできる。/etc/modules.confが正しく、また IDB コントローラがカーネルモジュールとして選択されている場合、一番の原因として考えられるのは何か?

(最も適したものを1つだけ選択)

- A. モジュールのビルドに失敗した
- B. 新しいカーネルが IDB コントローラを初期化できない
- C. 新しいカーネルのためのinitrdイメージが存在しない
- D. カーネルの IDB diskサポートが有効になっていない
- E. カーネルのSCSI genericサポートが有効になっていない

一番良い回答を選択 252 (Scored) 7 / 56 問

前 (P) 次 (N) デモトリアルの
終了 (E) コメント (M)



Linux
Professional
Institute

記述式問題の例

VUE C Candidate [90-999]

レビューチェック (E) 残り時間 1:15:25

システムを即座に、かつ安全にリブートさせるには コマンド _____ を使う。

(テキストフィールドに解答を入力)

214 (Scored) 8 / 56 問

前 (E) 次 (N) テストリアルの
終了 (E) コメント (E)



Linux
Professional
Institute

実際にLPIを受験してみても

- **技術レベルの再認識**
 - 『自分が知らないことがまだまだあると、改めて認識できた』
- **お客様からの信頼向上**
 - 『お客様から対応が違うようになった』
- **キャリアパスの具体的な目標に適切**
 - 『Linux 技術者指導での具体的な目標として分かりやすい』



Linux
Professional
Institute

LPIのもたらすインパクト

- Linux技術者の目標が明確化される。
- Linux関連教育機関の目標が定まる。
- Linux関連テキスト本の目標が定まる。
- Linux関連会社の技術レベルの目安が出来る。
- Linuxの市場の活性化が進む。



Linux
Professional
Institute

スポンサーシップ

スポンサーシップには以下の種類があります。

LPIスポンサーシップ
プログラム

企業スポンサー(5年間)

グレード	寄付金
プラチナム	500万円～
ゴールド	250万円～
シルバー	100万円～
ブロンズ	50万円～
コントリビューター	10万円～



Linux
Professional
Institute

LPI Inc. Platinum Sponsors



LINUXCARE

Maxspeed

sgiTM

IBM[®]



Linux
Professional
Institute

LPI Inc. Gold Sponsors



i n v e n t



Novell.

NTT-Neomeit Kansai





Linux
Professional
Institute

LPI Inc. Silver Sponsors



Osborne





Linux
Professional
Institute

LPI-Japan Platinum Sponsors





Linux
Professional
Institute

LPIスポンサー効果

- Linuxにコミットしている会社として訴求
- LPI推進会社として広告・広報活動をと
おしてロゴが露出され、認知度向上
- Linux Communityとのネットワークが
強化
- LPI技術者の応募が増加



Linux
Professional
Institute

LPI-J 役員

*敬称略、五十音順

監査
理事長
理事

村井 純

慶應義塾大学

成井 弦

株式会社リーディング・エッジ社

池田秀一

ミラクル・リナックス

泉澤 仁

富士通株式会社

ジェイ・パウエル

加藤敏之

株式会社PA

高橋千恵子

日本電気株式会社

窪田敏之

株式会社レーザーファイブ

鈴木敦夫

NECソフト株式会社

高杉昌督

株式会社日立製作所

高澤真治

有限会社OSDL-JAPAN

中原道紀

株式会社日本IBM

畠中有道

株式会社日本SGI

松田直之

リナックスアカデミー

丸茂晴晃

横河エンジニアリングサービス株式会社

矢野広一

ターボリナックス株式会社



Linux
Professional
Institute

関連Webサイト

- LPI本部
 - www.lpi.org
- LPI-Japan
 - (日本語試験開始と同時にスタート)
 - www.lpi.or.jp
- テストセンター
 - VUE-Japan
 - www.pearsonvue.com
 - R-Prometric
 - www.prometric-jp.com





Linux
Professional
Institute

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 LPI-Japan事務局

東京都千代田区外神田3-13-2

リナックスビル5F

Tel: 03-5297-1385

Fax: 03-5297-1386

E-mail: info@lpi.or.jp